

ほんごう

富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会会報

No. 17 2013年(平成25年)10月発行
〒939-8630 富山市本郷町13番地
富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会
発行責任者 石山 彰雄
印刷 / 株式会社 宮越印刷

ほんごう会大懇親会 (平成25年度総会)

場所 / ホテルグランテラス富山
(旧名鉄トヤマホテル)

会費 / 30才未満及び女性 ¥ 3,000
30才以上の男性 ¥ 5,000
新卒者 無料

恩師の先生方にも御案内しています。

なお出席の方はメール、FAX または同封の
はがきにて、**10月26日まで**にお知らせ下さい。

11月3日(日)

PM5:00~ 講演会
丁子教授 他

PM6:00~ 懇親会(総会)

詳しくはほんごう会ホームページ

ほんごう会 検索

または、同窓会メールまで

E-mail: info@tk-hongou13.net

いっぺんこられまあー

平成25年度ほんごう会大懇親会に 多数の参加を!!

平成24年度ほんごう会 講演会
富山高専本郷キャンパス同窓会総会



講演する松井先生



退官された米田校長



講演に聞き入る参加者



校長就任のご挨拶

校長 石原 外美

同窓会の皆様には、益々ご清栄のこととお喜びを申し上げます。平素から、母校の教育・研究活動に対し格段のご理解、並びにご支援を賜っておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

本年4月より、米田政明前校長の後を受け、第2代の富山高専校長を務めております石原でございます。この3月末まで、国立大学法人富山大学の工学部長、並びに同大学大学院理工学教育部(修士・博士課程)の教育部長を務めておりました。専門は機械工学で、構造物、並びに材料の安全と信頼性を担保するための研究を40年間続けて参りました。富山高専とのお付き合いは、旧富山工業高専の環境材料工学科において、非常勤講師として数年間材料力学を教えたことがあります。当時はJABEEの受審の前後で、教職員がその準備に精力的に取り組んでおられたことを覚えております。このたび御縁があり、再び本校にお世話になることになりましたことを、心から喜んでおります。

さて、皆様ご存知のように、平成21年10月1日に旧富山商船高専と旧富山工業高専は「高度化再編」により統合し、新しく「富山高等専門学校」として生まれ変わりました。平成26年度末には、改組後の本科第一期生が誕生することになります。また、平成27年度4月には、改組後の専攻科に新専攻生を迎え入れることになります。現在、そのための諸準備に教職員一丸となって取り組んでおります。

さて、これからの日本の新しい未来を拓くには、グローバルな視点で活躍でき、かつイノベーション

を創成できる人材の養成が大事であることが強く認識されています。そのために、社会に対して、大学、並びに高等専門学校等の高等教育機関が貢献することが強く求められているところです。それは、人材養成と研究成果の社会への還元により、新しい産業分野の創出や雇用を生み出すことができるものと期待されているからです。昨年度末(本年2~3月)の政府の補正予算の中身にも、高等教育機関に寄せる政府の期待を読み取ることができます。

富山高専では、現在、北アイルランド、ハワイ、中国、シンガポール、タイ等にある教育・研究機関との間で学生交流活動を着実に進めております。キャンパスの国際化を実現することにより、学生諸君の勉学への意欲を高め、そして最終的にはグローバル人材養成につながるよう力を注いでいるところです。加えて、教員間の交流を進めるために、上記国々の大学と連携し、国際研究シンポジウムの開催並びに共同研究の実施を積極的に進め、本校のさらなる活性化、社会におけるプレゼンスの向上に努めたいと考えています。同窓生の皆様方には、以上の本校の取り組みにご理解いただき、益々のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に同窓生の皆様方のご健康とご多幸を祈念し、私の校長就任のご挨拶と致します。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。有難うございました。





環境材料工学科最後の学生と一緒に卒業の栄誉

金属工学科→環境材料工学科→物質化学工学科 丁子 哲治

平成 25 年 6 月 21 日に全国の国立高専教員の最高賞である文部科学大臣賞を頂きました。これは、独立行政法人国立高等専門学校機構が行う高専教員顕彰で審査されたものです。受賞のテーマは、「20 年間「環境」一筋で教育・研究・地域貢献」で、ほぼ 20 年前に富山工業高専に赴任してからの 20 年間の教育研究の実績が、しかも退職の年にこのような形で評価されたことは、大変に感銘深いものがあります。

20 年前の富山工業高等専門学校は、大きな課題を 2 つ抱えていました。そのうちの 하나가金属工学科の改組でした。本校に金属工学科が設置されたのは、昭和 44 年ですが、おそらく富山県では金属産業が盛んで、そのための人材育成の要請があったことが大きな理由ではなかったかと思えます。しかし、その後の産業の発展をみると、全国的には金属材料のみならず有機材料や無機材料の分野の人材育成も必要とのことで、金属工学科を有する他の高専では昭和 60 年代始めには相次いで「材料工学科」に改組しておりました。改組の時には、かなり大きな予算が配分されるので、学科の設備が大幅に改善することも大きな魅力だったのです。しかし、当時の本校の金属工学科の教員は、富山には金属工学科が必要だと頑として改組に反対をしていて、全国の高専では唯一の金属工学科として残されていました。金属工学科が中学生にも人気があり、さらに就職も芳しい状況であれば、もちろん全国で唯一であろうが存続させる必要があったかと思えますが、現実とは全くその逆であった事実があります。当時の金属工学科の卒業生の方々には本当に申し訳ない状況だったのです。

そこで、ようやく金属材料ばかりではなく、有機材料や無機材料を学ぶ学科に改組すべく準備を始めたところ、一旦バスに乗り遅れるともはや手遅れというのが文部行政の常で、既に「材料工学科」への改組は許可されない状況になっていました。そこで浮かび上がったのが「環境材料工学科」だったのです。私が赴任して 2 年目の平成 7 年に

環境材料工学科の第 1 期生を受け入れました。環境に興味がなかった材料の専門家と材料のことは良く知らない環境の専門家のコラボの始まりでした。「環境材料工学」とはどんな分野ですか？この答えを求めるために、富山工業高専が主催で平成 6 年から始めたのが「エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウム」で、環境材料工学に関する専門家の講演を依頼しました。環境材料とは、英語で Ecomaterial と言いますが、この Eco は「Environment Consciousness」からの造語なのです。このようにしてできた環境材料工学科ですが、平成 26 年 3 月には最後の卒業生を送り出すことになりました。私の退職と時を同じくするのは何かの因縁と思わざるを得ません。

ところで、平成 21 年 10 月に富山商船高専と統合再編して富山高等専門学校となりました。同時に、スーパー高専と呼ばれるようになり、東海北陸地区高専の拠点校としての役割を担うようになりました。これは、学科数がこれまでの高専にはなかった 6 学科であり、教員数も 130 名以上という大規模校に与えられたものであると考えています。現在の富山高等専門学校は全国高専のトップクラスの高専であると自負しておりますが、これをキャンパス当たりとして半分にすると中の上程度の實力しかないと言わざるを得ず、より良い高専に進化させるべく学生も含めて全教職員が取り組んでいるところです。

高専は時代とともに進化を続けなければなりません。これまでの 50 年と異なる歩みで今後の 50 年は発展していかなければなりません。是非、同窓会の皆さんもそのような富山高専を見守っていただきながら、また数々の応援もお願いしたいところです。

同じクラスの仲間が旧友を温めるいわゆる同窓会は従前と変わることなく盛り上がっていただければ結構と思いますが、組織としての同窓会は一つの節目に来ていることは間違いがありません。

富山工業高等専門学校に入学してきた学生は、これまで通り4学科一緒に本郷キャンパスの体育館を会場にした卒業式で巣立って行きます。しかし、富山高等専門学校の学生として入学してきた学生は5学科(1学科だけは9月の卒業式)一緒に卒業式になります。したがって、卒業後はスーパー高専の名にふさわしい規模の大きい富山高専同窓会の誕生が望めます。富山高等専門学校第1期生の卒業式は平成27年3月です。本稿を締めるに当たり、同窓会の方々にはこのことをよくご理解いただき、かつ重く受け止めていただきたいとの私の希望を申し述べさせていただきます。末筆ながら、富山工業高等専門学校の卒業生の方々には、これまでのご支援に対して感謝申し上げます。

すとともに、引き続きのご支援をお願い申し上げます。



丁子教授(富山)に
文部科学大臣賞
国立高専教員顕彰

優れた功績のあった教員に贈られる国立高専教員顕彰賞を受賞した。このほか、物質化学工学科の河合孝恵准教授と一般教養科の大橋千里准教授の論文が高専教育論文賞に選ばれた。各賞の表彰式は21日に愛知県豊橋技術科学大で行われた。

北日本新聞 8月28日掲載

『所感』



一般教養科 立野 彰

私は、平成元年に富山高専に赴任しました。以来25年間、この学校の英語教師としてご厄介になったわけですが、大学での専攻は哲学でした。私の同期生は、7人で例年に比べ異常に多く、しかも哲学科始まって以来始めて女の子が入ってきたというので先生方は大喜びでした。学生の数より先生の方が多いのでは、肩身が狭かったのかもしれない。

1年半の教養課程を終え専門に入ると学年単位の授業はなく、下級生から大学院生までを加えた授業です。弱ったのは受講者が私だけの授業があったことで、休むときは先生に断らなければならない。先生にも変わった方が多く、定期試験で英文20頁あまりの分厚いコピーを渡され、時間制限はないから全部訳せというのには参りました。評価は、提出した答案をホッチキスで綴じ扇風機で飛ばして距離が短い順に高くするという噂でした。私が哲学科を選んだ理由のひとつに、中学・高校で数学と英語ができなかったことがあります。大学に入って良かったと思うのは、自分が抱えてきた数学や言語に関する疑問がそれほど馬鹿げたものではなく、西洋哲学の重要な課題の一つであることがわかったことです。悔やむとすれば、酒と

タバコと芝居が大好きな先生がいて、ゼミを自分の部屋でコーヒーを飲み、タバコを吹かしながらされる。学生もそれに合わせるものだから、ついタバコを覚えてしまったことでしょうか。

「人間は所詮若い時の生を繰り返す」という意味の言葉をどこかで読んだ覚えがあります。私は、いわゆる「でもしか先生」で、「教育かくあるべし」、「高専かくあるべし」といった高尚なことを言える柄ではありませんが、この頃の効率主義、成果主義、外部評価といった風潮には、どうしても馴染めません。高専に来た理由のひとつに高校での受験指導が嫌になったこともあります。高専はあくまで「ものを作ることが好きな人間がそのために勉強する」学校であって欲しいと思っています。また「人間とは何か」「幸福とは何か」というような根本的な問題を真剣に考える技術者を輩出して欲しいと思っています。

最後に、性急情、特別の取り柄もない私が無事に定年を迎えられるのも、お世話になった関係教職員の皆様と、とりわけ私が教えることになった学生諸君の思いやりの賜であると思わざるをえません。厚く感謝いたします。



富山高専に感謝

物質化学工学科 米谷 正

私は昭和41年4月に富山工業高等専門学校工業化学科に入学、同46年3月に卒業後、直ちに同校学生課に勤務、その後教員に配置替えになり今日に至っております。すなわち本校に通うようになり48年、本校に勤務すること43年になり、このように長い間に本校に関わっておりますので多くの思い出があります。

学生時代では、誠に厳格な瀬川先生のことをよく覚えております。先生は入学式の日教室で突然大きな声で「これは校長命令です。」と叫ばれました。何も分からない新入生はキョトンとし途端に静かになりました。また私は4年生の時に一ヶ月間、高岡の日本曹達(株)に実習に行きましたが、これが私の貴重な会社経験となってしまいました。

本校に勤務するようになり初めに頭にあったのは研究力を身につけなければならないということです。何しろ経験が少ないわけですからまずは富山大学薬学部の雑誌会等に通わせて頂きながら勉強をしました。また卒業研究の学生とは夜遅くまで一生懸命に実験したことを覚えております。卒業後10年以上かかりましたが論文博士を頂くことができ研究者として生きていく自信ができました。またその頃になると主事補や担任業務もするよう

になっていましたが、このような教育の仕事は全く訓練を受けていないことからいろいろな先輩諸先生方の背中を見て考えながら進めてきました。しかし結果的には、このようないろいろな先生方のやり方を見て考えるということが大切であったと身にしみて感じております。

さて私と同窓会との関わりということになりますと、本校に勤め始めてすぐに当時の庶務課長に初代同窓会長がおられる場所へ連れていかれ、庶務課では同窓会の仕事を今後一切しないとわれ、私に仕事を引き継ぐようにお話されました。私はもちろん同窓会の仕事をするために本校に就職したわけではありませんからびっくりしたのは当然です。しかしそれ以来同窓会の仕事を細々ながら約20年間続けてきました。当時まだ若かった1、2期生の皆さんは会社が忙しく大変な思いをしながら富山高専同窓会の継続のために尽力していただいたことを覚えております。この場を借りて初期の同窓会長を務められた川原氏(C1)、井本氏(E1)、花島氏(M2)、高島氏(M2)の皆様には感謝したいと思います。

このように私が人生の大半を過ごしてきた富山高専に感謝の気持ちでいっぱいです。

ごくろうさまでした！！

丁子先生、立野先生、米谷先生は、25年度で定年退職されます。長い間、数千人の本郷キャンパスの学生のためご尽力いただきありがとうございます。ありがとうございました。

今後は、本郷キャンパスの枠を超えて益々ご活躍されることを期待して、同窓会からもお礼申し上げます。



近年に逝去された先生

屋敷泰次郎	2012/5
高田 俊二	2012/5
北澤 俊嶺	2013/2
平木 道幸	2013/3
平澤 良介	2013/5
高藤 昱也	2013/5
寺田 龍郎	2013/6



50周年記念に向けて

同窓会長 石山 彰 雄

昨年は高専創設50年につき報告しました。

富山高専も平成26年に50周年となります。学校としての記念事業なども検討されていることを9月6日の三者懇談会により確認し、協力、支援をしてゆくこととしています。

当然のことながら同窓会々員の方々には、多少なりとも寄付をお願いすることとなりますので、その節にはよろしくお願い申し上げます。

又、同窓会々員名簿につきましては、前回の発行が平成22年10月でしたので、平成27年10月頃に改訂版を発行することとしています。

平成27年当初より名簿製作専門事業者である株式会社サラトより同窓会名において、住所・氏名など名簿登載希望内容につき、連絡があると思われまますので、御協力の程よろしく申し上げます。

11月3日(文化の日)、今年は日曜日にあたり

ますが、同窓会総会をホテルグランテラス富山(旧名鉄トヤマホテル)にて開催しますので是非御出席下さい。

会員のみなさんの情熱が学校を元気にします。

11月末日には、第5回となる全国同窓会連絡会の開催が予定されています。しかし、その体制・方向づけがハッキリしていません。

私は同窓会が高専制度につき、しっかりした意見表明をする責任があると考えます。日本のもの作りの屋台骨である高専制度の制度設計は日本の将来そのものと考えます。そのことに同窓会が無関心であっていいはずがありません。

是非、全国の同窓生が、同窓会が、しっかり議論をして、高専制度を盛り上げてゆきたいと考えています。

同窓会々員の御協力をお願い致します。

平成24年度富山高専本郷キャンパス同窓会事業報告(抜粋)

平成24年度事業計画に基づき、それぞれの事業を実施すると共に学校・後援会との連携を更に深めるため、三者懇談会、各種行事などにも積極的に参加した。

産学連携を深めるための富山高専技術振興会にも、同窓会として積極的に参加した。

全国高専同窓会連絡会、ヒューマンネットワーク高専定時総会、50周年記念式典へも参加し、情報交換等行った。

◎ 具体的事業

1. 同窓会総会・定時理事会・常任理事会の開催

同窓会総会 11月3日(土) 文化の日
名鉄トヤマホテル

出席者 正会員 34名
特別会員(教官) 5名

講演会 松井紳一郎教授

定時理事会 6月23日(土)
ゴルフアートとやま

理事総数 209名

出席者数 9名(委任状提出者66名)

常任理事会 年間4回開催した。

2. 会報の発行

会報(No.16)を発行した。

3. 富山高専・後援会・同窓会の三者懇談会開催 平成24年9月7日(金) 午後6時 高志会館

4. 卒業祝賀会を共催

後援会との共催により、卒業式終了後、卒業生・修了生に対する祝賀壮行会を開催し、同窓会への積極的参加をアピールすると共に、各クラス代表者(理事予定者)へ活動助成金を交付した。

5. 在校生・学生会への助成

・写真部、剣道部、卓球部、囲碁・将棋部に対し、それぞれ助成金を交付した。
・ロボットコンテストでの頑張りを期待してロボコン部へも助成金を交付した。

6. クラス会・クラブOB会活動への助成

・クラス会助成10件。

7. 全国高専同窓会連絡会への出席

平成24年11月24日(土)
東京 お茶の水ホテルジュラク

8. 技術振興会への出席 理事会・総会

平成24年10月26日(金)
名鉄トヤマホテル

9. 高等専門学校制度創設50周年記念式典

平成24年10月30日(火)
東京都千代田区 一橋記念講堂

平成25年度 富山高専同窓会事業計画案

同窓会が、会員に身近なもので、気軽に参加できる体制作りと在校生を含めた広報、P.R.活動を積極的に実施する。

又、後援会及び学校側と共に富山高専のより良い伝統の構築を目指して活動する。

産学連携の特徴である技術振興会のP.R.と支援。

全国のの高専同窓会及び卒業生などとの連携・協力を推進する。

具 体 的 事 業

1. 総会・理事会・常任理事会の更なる活性化

理事・常任理事等役員には、それぞれの立場での自覚を促すと共にきめ細かい出席要請を実施する。

今年の総会は、会則どおり11月3日(文化の日、日曜日)に開催する。

例年どおり、総会に先立ち講演会を実施する。

2. 会報の充実

会報編集委員会の充実により、より親しまれる会報を目指す。

3. クラス会・クラブOB会活動への助成

同窓会活動の活性化につながるクラス会・クラブOB会開催に対し助成する。

助成金(1万円)の拠出条件

- ① 10名以上によるクラス会・クラブOB会の開催
- ② 写真と会報用の簡単な原稿を提出
- ③ クラス代表(理事)・クラブOB会代表からの申請(年1回のみ)

4. 富山高専・後援会・同窓会の三者懇談会の開催

年間行事の打合せ等、情報の交換により、富山高専のより良い伝統の構築を目指して活動する。

5. 卒業・修了式後の祝賀壮行会の共催

後援会との共催、学校の協力により祝賀壮行会を例年どおり実施し、同窓会の卒業生に対するP.R.そして積極的な参加を訴える。

6. 在校生・学生会への積極的助成

在校生に活気を与える積極的な助成を考慮してゆく。

7. ロボットコンテストへの助成

富山高専のロボットコンテストにおける成績向上を目指して同窓会としてできる支援を考慮する。

8. 在校生への講演会の実施

卒業生の社会での活躍をじかに感じてもらい、同窓会をP.R.する。

9. 全国組織への積極的参加

「ヒューマンネットワーク高専」及び「全国高専同窓会連絡会」と連携し情報の伝達を行う。

10. 富山高専技術振興会のP.R.と支援

技術振興会の設立趣旨を会員に広くアピールすると共に同窓会員も積極的に振興会へ参加してもらう様広報する。

技術振興会の事業に対しても積極的に参加する。

同 窓 会 役 員 名 簿

	回 生	氏 名
会 長	M 3	石 山 彰 雄
副 会 長	M 4	丸 山 治 久
副 会 長	M 6	布 村 敏 夫
常 任 理 事	M 5	長 浜 啓 一
"	E 5	山 田 直 樹
"	M 8	宮 越 成 幸
"	C 10	打 出 孝 彦
"	K 8	奥 野 耕 市
"	C 15	川 越 みゆき
関 東 支 部 長	M 1	長 谷 治 男
監 事	M 1	浜 下 朝 夫
"	E 2	竹 中 直 志

会員のひろば クラス会・OB会情報

E17 同窓会

平成24年8月12日(日)、長らくリクエストのありましたクラス会が開催できました。

卒業から27年が経ち48歳を迎える今年、巷で言われる“体の変調期”を吹き飛ばす趣旨での開催でした。恩師の小川先生をお迎えし、10名の参加でしたが、夜遅くまで楽しい時間を過ごしました。

27年の歳月は皆の外見を大きく変えていましたが、心はあの頃のままです。ブランクは全く感じませんでした。

多感な時期を一緒に過ごしたあのころ戻って、大いに盛り上がることができました。



今回は、卒業後30年となる平成27年(2015年)夏に計画します。

今回参加できなかった皆に会えることを、楽しみにしています。

(世話役 野村忠敏)

C41 同窓会

平成24年12月30日(日)、私達平成16年度入学生物質工学科生の4、5年生の時の担任である、鳥山先生の定年退職お祝い会兼忘年会を開催しました。生徒は約8割の28人、先生方はお忙しい中、川淵先生、間中先生に集まってお祝いいただき、計31人での会となりました。卒業してから4年たちましたが、先生方をはじめ皆に大きな変化はなく、近況報告を交えながら飲んで騒いで楽しい会になったと思います。最後は鳥山先生へクラスメートから感謝とお祝いの気持ちを込めて、マフラーと花束を贈呈しました。まだ非常勤講師として働いていらっしゃるみたいですが、今後も元気に頑張りたいと思います。先生方をはじめ、クラスメートの皆さんになにかいい事があつたらこのような会を随時開催したいと思



うので、結婚した、子供ができたなどありましたら、私の方に連絡ください(笑) 次回はお盆もしくは年末に同窓会を開催します。予定をあけて参加していただければと思います。それまで皆さん、お元気で。

(C41 同窓会委員 妻木 和敬)

M42 同窓会兼忘年会

平成24年12月30日(日)平成22年度卒業生である機械工学科29名にて同窓会兼忘年会を開催しました。



33名中29名が集まり、授業の出席率よりも良い人数が集

まり仲間同士の意識がとても高いなということを感じて感じた同窓会となりました。私たちは、専攻科に進学した仲間が多く、久々の顔を見る友人は少ないですが、県外に行った友人からの近況報告や婚約・入籍の話なども聞くことができ、驚く話も飛び交いました。私たちは今までに年2回の同窓会を開催し続けています。この集まりを途切れることなく続けていきたいと思っています。

次回はお盆休みに開催したいと思います。それまでに、たくさんの刺激のある話や感激な話などを蓄えておいてください。今回参加できなかった皆さんも加えて、その時までお元気で。

(松井大貴)

宿泊 E3 クラス会

ここ数年恒例の宿泊 E3 クラス会を海の日三連休に佐渡で開催しました。

夫婦で駆け付けてくれた同学を含め 14 人の参加者があった。

今回首都圏からは車 2 台 6 人で新潟港まで行ったが、そのままフェリーに乗らず面倒ではあるが駐車場に置いて乗客として乗船、両津港でデミオを 2 台借りた。

これは事前のシミュレーションにより、この方が一人 4 千円以上安いと分かったから。

これはフェリー代が高く設定されているので一台に 6 人以上乗らないなら新潟港に駐車し乗客として乗船し現地でレンタカーの方が安上がりですこの旅行会毎年楽しみにしている同学も多く幹事としては昨年 11 月よりああでも無いこうでもないと思ふことしきり(歳にとって刺激の少なくなった昨今これがボケ防止と楽しみで又、皆から A 級(永久)幹事とおだてられ長く幹事をやられてるのかも)印象に残ってるのは「Nipponia Nippon」と日本が二つも付いた一旦絶滅した朱鷺が今 250 羽余りもいることに驚いた。中国産朱鷺の子孫なのが残念ではあるが。トキ色の綺麗な羽が目に焼き付いた海洋性気候なのか 7 月半ばというのに肌寒いくらいで、毎日雨模様だったのはちょっと残念でした今回 120 人も泊れる民宿(?)を利用したので宿賃が安く、黒アワビ踊り焼一人一杯(3 千円)と舟盛り二隻を奢ったが、歳のせいか皆食べきれず残して



勿体ない事をしてしまった年々歳々酒量が減りしかも、いつも焼酎の希望が多かったが新潟の銘酒ゆえか酒が進むこと進む事。

宴会が終わっての部屋での二次会には参議院選挙前でもあり金融緩和に憲法、国防論と侃々諤々、喧々囂々と気の置けない同学と遅くまでと言いたい処だが、一人減り二人減りとなんと 10 時半には皆寝てしまった(歳とったなあ)翌日は金山を回ったら出口の売店で 1kg バーが 450 万円。相場品だから現金でしか売らないとの話で已む無く断念(涙目)二泊目は住吉温泉。ここの女将は仲々の人、宴会中ずっとお話を聞かせてもらいました。しかも帰りには佐渡の地酒「金鶴」一升のお土産を頂いた今まで色々泊まったがこういう経験は初めて。幹事慰労として独り占め(悪しからず堪えて)帰りには寺泊市場通りでの昼食後、海鮮お土産を買い込み帰途へ来年又元気で会おうと解散。

因みに次年度は伊勢志摩 11 月末の予定

(E3 幹事 野村正信)

E6 同窓会・還暦の再会。 富山第一ホテルにて

3 年前に約束した今回の同窓会。まず無事、開けたことを参加して下さった皆さんそして、小川先生・武田先生・亀田先生に感謝申し上げます。ただ、前回参加してくれた矢後君の訃報は、残念なことです。今回から、旧姓 中川君がこの会に加わっていただけることに感謝します。先生方を囲んで各自のスピーチは年齢を超えて暮らして来たいろいろな思いが伝わってきました。孫ができてねー・・・この話題は、一番年齢を物語っていました。今回参加できなかった皆さん次回は、2016 年 8 月 20 日(土)に開催が決まりました。私から連



絡が入ったら

参加しますとメール返信ください・・・

(未だ 世話役人 金子信一 より)

M8 同級会

平成 25 年 8 月 17 日(土)午前中に大山カメラア
カントリーでゴルフに参加したグループと合流し
て午後 6 時 30 分から富山市奥田新町 KKR 富山銀嶺
にて M8 の同級会を開催しました。

持ち回りの幹事を決めて 2 年に一度、開いてい
るのですが、今まで連絡先すら分からなかった二
人が出席したり、今回、初めて出てきた者がいた
りで、今までの最高出席数 19 人になりました。

ただ、今年 6 月に 1 人が病死したため、懇親会
の前に黙祷で始まり、午前中に行われたゴルフ大
会の成績発表をしたり、各人の近況報告は、億単
位の金額を扱って浮き沈みしてきた者、奥さんを
なくしてフリーになった者、離婚した者、孫がい

る者などあと 2 年で還暦を迎える年になると波瀾
万丈の人生を送っている者の話を聞いていると、
あっというまに時間が過ぎていきました。

規定時間が迫り、慌てて集合写真を撮り宿泊組
みの部屋に移動して飲みなおし。今回は、来年開
催しますので、今回、出席できなかった者も是非、
出席して下さい。

(幹事 五十嵐、池田。文責 宮越成幸)



平成25年度 弓道部OB射会・懇親会

今年度の弓道部 OB 射会・懇親会を、お盆時期の
土曜日である 8 月 17 日に開催しました。

今年は昨年とは異なり、日程にも恵まれ多数の
参加がありました。在学中の方も手伝いや射会に
参加して頂けました。誠に感謝致します。

射会では在学生在が殆ど賞品を持って行くといっ
た結果でした。入賞のボーダーが半分以上の的中
数であったため、例年よりも高いレベルの射会であっ
たと感じました。その後の
お菓子やジュース等を囲ん
で在學生と交流を行いました。進路の相談なども行わ
れており、大変有意義な時
間であったと思います。

懇親会は「かんとりーは
うす」にて 19:00 より行い
ました。飲み会からの開催
者も多数参加し、想定以上
の人数が集まったため場所

が窮屈でしたが、それもまた良かったと感じまし
た。二次会でも趣味の話や今やっている仕事など
で大変盛り上がり、例年になく良い結果に終わっ
たと思います。

来年度からお盆期間中の弓道場の使用が出来な
くなる可能性があるため、色々と考えなければな
りませんが、時期は固定で行いたいと思います。
来年度も多数の参加をお待ちしております。

(幹事 E40 島崎紘巨)



同窓会助成部活紹介

平成25年度 ロボコン報告

僕らの最大の課題となっている、昨年から大きく変更させたルールがあります。それはロボットを操縦する手段についてです。

昨年の競技「ベスト・ペット」では、ロボットがフィールド中に散らばったボールを拾い集めてゴールに入れるというものでした。その際のロボットへの指示は、今までのようなコントローラを使用してはならず、しかも、ロボットに接触してはいけない。というルールでした。

一番の問題になったのは、やはり、いかにしてロボットに指示を出すか、ということでした。昨年度は超音波センサを使用しました。1つの超音波送信機に対して複数の送信機を用意し、送信機から出た超音波を手や道具を使って反射させ、狙った受信機を反応させるという方法を用いました。しかし、超音波の反射は難しく、先輩方は制御するのに大変苦労していました。

今年度の競技は「Shall We Jump?」です。スタートからゴールまで縄跳びをしながら、競技終了までの時間を競うというものです。

昨年同様、コントローラの使用・ロボットへの

接触は禁止されています。その上、ロボットを連続でジャンプさせなければいけません。このことは電気班。機械班ともに大きな壁となって立ちほだかっています。

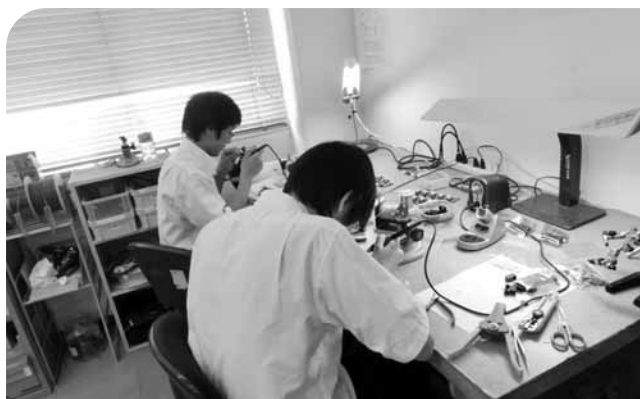
今回、まず電気班はロボットへの指示に、レーザか光センサか赤外線センサを用いる方針を固めました。

赤外線やレーザを遮ることで、ロボットへ指示を出そうと試みています。今現在の課題は、いかにセンサの反応する距離を遠くして、操縦性をあげるかということです。

次に機械班では、ロボットのジャンプ機構を考案しています。バネや圧縮空気を用いてジャンプする方針で設計を進めています。しかし、ジャンプをするために必要な力を出すためのバネはとても強力なため、バネを引く動力の確保に苦労しています。

今年の競技は困難なことが多いです。やりとげれば、今後の大きな自信につながると思います。

みなさまのご声援は、大変励みになります。どうか、よろしくお願いいたします。



卓球部 近況報告

卓球部は、昨年度の全国高専大会において男子団体第三位に入賞いたしました。本年は新たに1年生部員2名を迎え、また一昨年度からは女子部も発足し、現在5年生6名、4年生2名、3年生5名(内女子2名)、2年生1名、1年生2名、総勢16名で活動しております。今年、同窓会のご助成により青い今風のユニホームを新調し(写真)、全員おそろいで気持ちも新たにますます練習に励んでいます。

7月6日、7日に開催されました北陸地区高等専門学校体育大会では、卓球部は男子団体2位、男子シングルス3位、男子ダブルス2位という成績でした。コーチの金広裕氏(M19)のお話では、本校卓球部員は一生懸命練習に精進し、仕上がりが具合はかなり良かったのだけれど、残念ながら石川高専の方が一步先んじていたそうです。ということで、惜しくも平成18年度から7年間連覇していた全国高専大会への切符を、今年は惜しくも逃してしまいましたが、来

年からまた心機一転、大野友也(現在4M)主将を中心として、今度は挑戦者として全国高専大会を目指して頑張っていきたいと思っております。同窓会の皆さま、今後も応援の程どうぞよろしくお願いいたします。また最後になりましたが、北陸地区高専大会の折、卓球部のOBの方から過分なご芳志を頂きましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。

(卓球部顧問 一般教養科 津森展子)



剣道部 近況報告

富山高専本郷キャンパス剣道部は各学年3名前後の部員数で、一時期は団体戦の出場も危ぶまれる時期もありましたが、現在の2年生で大量の入部があり、また女子部員も5名となり、高校の大会では女子団体戦にも出場しています。定期的に外部招へいコーチの伊勢博行先生にご指導いただき、日々、武道場で活気あふれる稽古を続けております。

今年度の北陸地区高専大会において、男女ともに団体優勝果たしました。ともに昨年に引き続き2連覇です。去る8/17、18には鶴岡(山形県)で開催された全国高専大会(第12回全国高等専門学校女子剣道大会(女子団体)、第48回全国高等専門学校体育大会剣道競技(男子団体))へ出場いたしました。大会直前には剣道部OBの皆様にご稽古をして頂ける機会にも恵まれ、先輩方の期待を背負って大会に臨みました。

全国大会では女子団体は第3位に入賞することができました。北陸地区から剣道競技での女子入賞は初めてのことです。男子も善戦しまし

たが、予選リーグ敗退となりました。逃げずに攻める剣道の大切さを学んだようです。

同窓会より頂きました助成金は全国大会への学生旅費などに活用させていただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。来年度もさらに上をめざし、精進していききたいと思います。引き続き応援のほどよろしくお願い申し上げます。

(剣道部顧問 尾山 由紀子)



同窓会会計報告

平成24年度 決算報告

平成25年度 予算

収入の部 平成24年 4月1日～平成25年 3月31日

自平成25年 4月1日
至平成26年 3月31日

項目	決算額	摘要
繰越金	245,289	前期繰越
同窓会会費	2,085,000	会費15,000円×139名
その他	0	
利息	208	普通預金
計	2,330,497	

項目	予算額	摘要
繰越金	571,447	
同窓会会費	1,665,000	会費15,000円×111人
利息	100	
計	2,236,547	

支出の部

支出の部

項目	決算額	摘要
総会費	174,327	11/3 開催
理事会費	75,201	6/23 開催
学生会助成費	110,000	クラブ活動助成金
ロボコン助成費	60,000	ロボコン活動
渉外費	60,000	「全国高専同窓会連絡会協議会」出席旅費
事務局運営費	30,000	
会報発行活動費	838,547	会報誌「ほんごう」10月発行、総会案内含む
定期協議会費	37,577	三者懇談会 9/7 開催
支部活動助成費	100,000	関東支部・クラス会助成
祝賀壮行会費	148,750	花・会場設営・会費 新クラス理事への助成金
講演会費	0	
負担金	90,420	技術振興会会費
ホームページ維持費	24,228	ホームページ更新・ドメイン利用料 レンタルサーバー料
予備費	10,000	サッカー北信越大会協賛金
繰越金	571,447	次年度に繰り越し
計	2,330,497	

項目	予算額	摘要
総会費	200,000	
理事会費	100,000	常任理事会を含む
学生会助成費	130,000	クラブ活動等助成 高専祭等
ロボコン助成費	60,000	2件分
渉外費	60,000	「全国高専同窓会連絡会」 「ヒューマンネットワーク高専」 出席旅費
事務局費	30,000	
会報発行活動費	850,000	総会案内を含む
定期協議会費	60,000	三者懇談会費を含む
支部活動助成費	100,000	クラス会助成
祝賀壮行会費	160,000	
講演会費	30,000	
負担金	100,000	技術振興会会費
ホームページ維持費	50,000	
予備費	306,547	
計	2,236,547	

編集後記

来年が富山工業高等専門学校ができて50周年、記念事業は再来年行われる。さすがに50年もたとえ発足当時の先生もいなくなる方が目立ちはじめた。私が部活で大変お世話になった寺田龍郎先生もその1人。6月の定時理事会のときに訃報を知り、部活の同級生2人に連絡をとり、お参りに行って来ました。

現役時代にも大病で奇跡の生還を果たして、趣味のヨット、バイク、車、山、スキー、釣りと人生を謳歌してこられた先生のまさかの訃報。奥さんの話では、夕暮れに、はしごから落ちて、入院。入院中に前立腺がんが見つかり悪化したとの事。

近年になくなられた先生を記事として載せましたが、皆さんも思い出深い先生がおられるのでは？

ちなみに同級会のコーナーにも、同級生の訃報が目立つようになって来ました。1回生が65歳位ですので無理もないのですが、せっかく7年後に東京でオリンピックが開催されるのですからそれまで、元気で是非、応援に行きたいものです。

(事務局担当 Mより)



写真部 近況報告

写真部は、現在部員数 14 名で活動しています。部員の大半は他の部と兼部しており、部員全員でまとまって活動することは少ないですが、普段は各自で撮った写真を持ち寄って評価し合い、その中から選んだ写真を部室前廊下に展示する、という活動をしています。また、球技大会や高専祭などの学校行事の際には部員全員で積極的に写真を撮り、後日、学生の皆が良い思い出になったと思えるような写真を展示しています。同窓会からいただいた助成金で A3 カラープリンターを購入し、大判の印刷ができるようになりました。有効に使用していきたいと思っています。



「五分咲きの葉桜」田島慶太

学校のHPより

第48回全国高等専門学校体育大会水泳競技大会 優勝



9月1日に秋田県立総合プールにて開催された第48回全国高等専門学校体育大会水泳競技大会において、本校電気制御システム工学科3年の佐伯勇弥君が、男子800M自由形で優勝、男子200M自由形で2位入賞を果たしました。佐伯君は一昨年の全国大会でも男子200M自由形でも優勝しており、通算2回目の全国大会優勝となります。また、本郷キャンパス水泳部は全体でも総合9位と健闘しました。

同窓会ホームページを活用しよう!!

ほんごう会のホームページアドレスは
 ほんごう会 <http://www.tk-hongou13.net/>

【会員専用ページ閲覧 ID とパスワード】

ユーザー ID : member

パスワード : passhongou13

なお、メールアドレスは
 info@tk-hongou13.net です。

ホームページの管理には、費用がかかっています。
 パソコンに詳しい方でボランティアで運営・管理して
 いただける方、ご連絡下さい!!

